

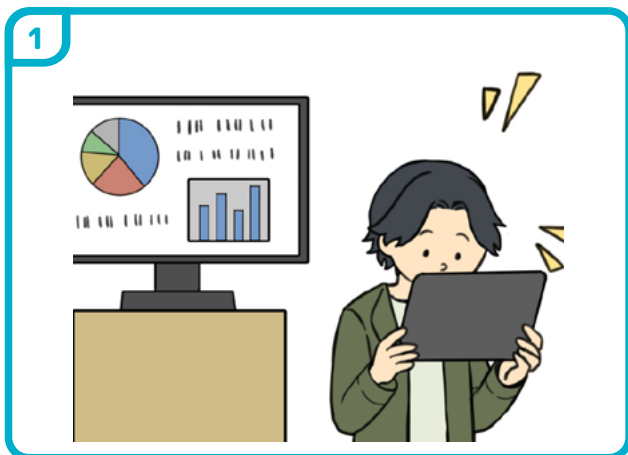


タブレットを使うと、いろいろなじょうほうを友だちときょう有したり、まとめたことをわかりやすく発表したりすることができます。ここでは、タブレットを使ってきょう有したり、発表したりするときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

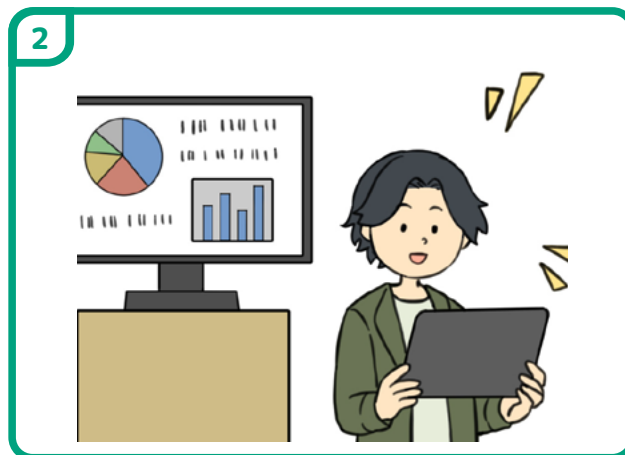
さいしょにチェックしてみよう

- ☐ わたしは、タブレットを使って上手に発表できると思う
- ☐ わたしは、感想を具体的に伝えることができると思う
- ☐ わたしは、友だちの発表をきちんと聞いていると思う
- ☐ わたしは、自分の作品が勝手に書きこまれたとき、きちんと対おうできると思う

タブレットを使^{つか}った発表^{はっぴょう}の様子^{ようす}です。クラスの前^{まえ}で発表^{はっぴょう}しています。
じょうず はっぴょう おも
上手な発表^{はっぴょう}だと思^{おも}うじゅんにならべてみましょう。



ずっとタブレットを見^みて発表^{はっぴょう}している

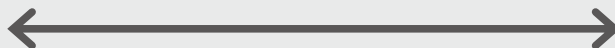


き聞^きいている人^{ひと}を見^みて発表^{はっぴょう}している



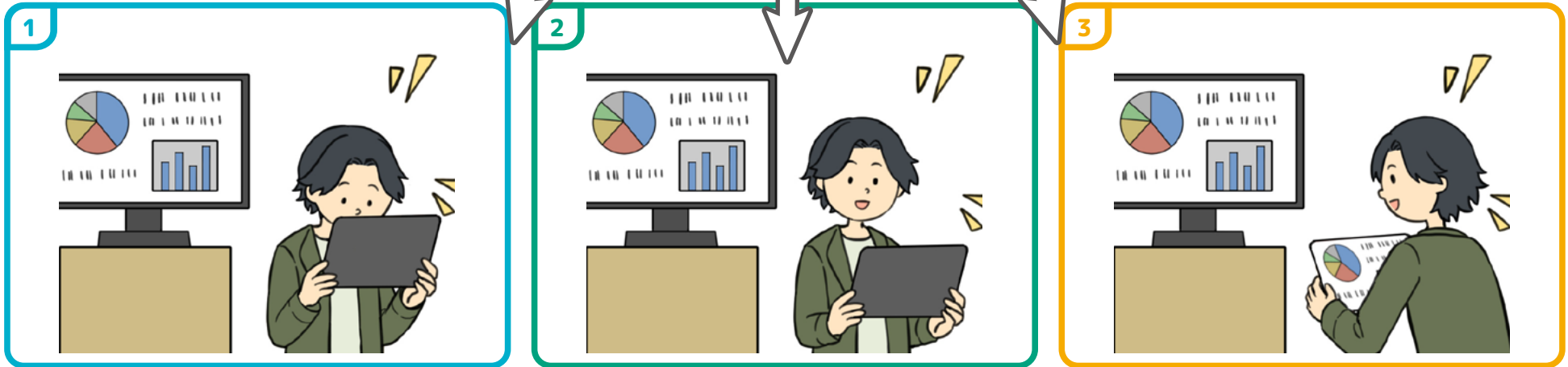
モニターを見^みて発表^{はっぴょう}している

じょうず
とても上手



じょうず
上手ではない

とも
友だちとくらべてみよう



★ スキルのポイント

タブレットやモニターを^みながら^{はな}話してしまうと、どうしても^{こえ}声^{まえ}が前にとどきにくなります。できるだけ、^き聞いて^{ひと}いる人^{ほう}の方^むを向^{はっぴょう}いて発表するとよいでしょう。

また、^{こえ}声^{おお}の大きさや^{はな}話^{はや}す速さなどもくふうしてみましょう。どのような^{こえ}声^{おお}の大きさや^{はな}話^{はや}す速さだと、^き聞き^{はっぴょう}やすい発表になるか、ためしてみましょう。

きょう^{しょく}食^{つく}を作^{ひと}ってくれた人^むに向けて、今日^{きょう}のきょう食^{しょく}のカレーの感想^{かんそう}をつたえることになりました。

れい

きょう 今日^{しょく}のきょう食は、おいしかったです。

うえ^{かんそう} 上の感想を、よりよく^{つた}伝^{くふう}わるように工夫^{くふう}してみましょう。
どんなこと^{くわ}をつけ加^{かんそう}えると、よい感想^{かんそう}になるでしょうか。



きょう 今日^{しょく}のきょう食はおいしかったです。
とくに、

かい答れい

きょう しょく
今日のきゅう食はおいしかったです。
とくに、お肉がやわらかく、ニンジンがあま
かったです。

とも
友だちとくらべてみよう



★ スキルのポイント

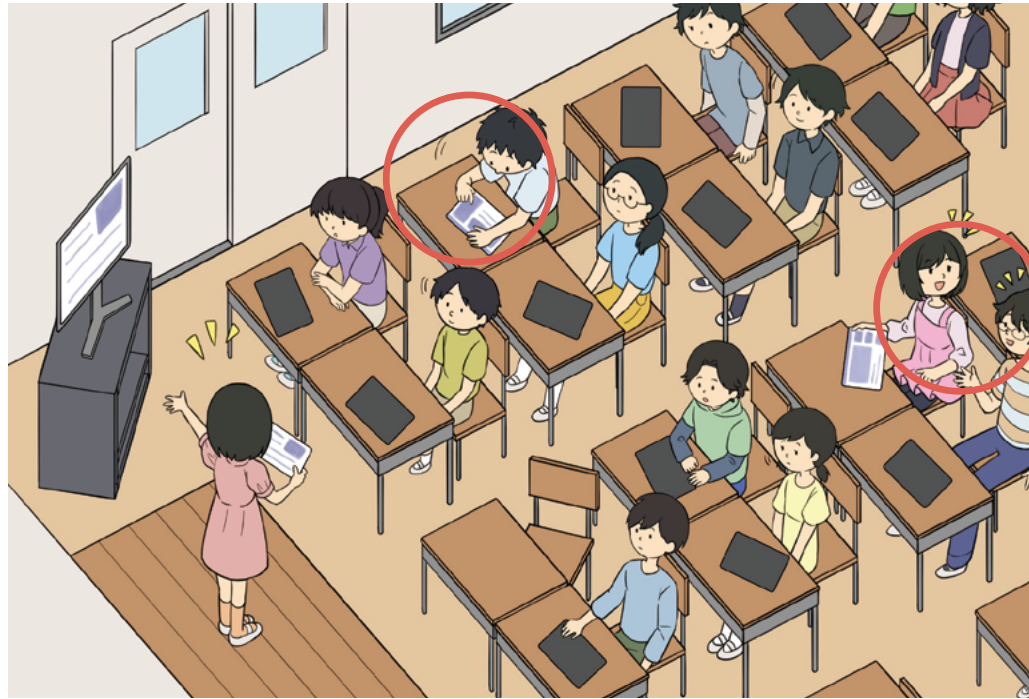
きゅう食を作ってくれた人は、どんなことを知りたいでしょうか？

「おいしかった」だけでなく、カレーの何がおいしかったのか、具体てきに知りたいはずです。

かんそう
感想をつたえるときは、具体てきにつたえてみましょう。

An illustration of a classroom scene. A female teacher in a pink dress stands at the front, holding a paper and gesturing towards a large screen on a stand. The screen displays a simple diagram. Several students are seated at their desks, which are arranged in rows. Some students are looking at the teacher, while others are looking at papers or devices on their desks. One student in the back row is looking at a laptop. The classroom has large windows on the left wall, letting in light. The overall style is a clean, colorful illustration.

とう かい答れい



★ スキルのポイント

とも はっぴょう
友だちが発表をしているときに、きちんと聞くことができるでしょうか？ とも はっぴょう
友だちが発表をしているのに、たんま
つをさわっていたり、とも はな
友だちと話をしていたりしていることはありませんか？
はっぴょうしゃ はな
発表者が話しやすいように、き かんが
聞くためのくふうも考えてみましょう。

じぶん さいくひん み こうかい さいくひん らくが
自分のつくった作品を、みんなが見られるように公開したところ、その作品に落書きをされてしまいました。
あなたならどのように対おうしますか。
つぎ こうどう ほう ほう
次の3つの行動を「○ やった方がよい」「× やらない方がよい」にわけてみましょう。

1

くやしいので
ほかひとさいくひん
他の人の作品に
らくが
落書きする

2

らくが ようす
その落書きの様子を
き
記しておく

3

らくが
落書きされたことを
せんせい
先生にそうだんする

○ やった方がよい A

B × やらない方がよい

○ やった方がよい ^{ほう} A

2

らくが ふうす
その落書きの様子を
き
記ろくしておく

3

らくが
落書きされたことを
せんせい
先生にそうだんする

× やらない方がよい ^{ほう} B

1

くやしいので
ほか ひと さくひん
他の人の作品に
らくが
落書きする

★ スキルのポイント

クラスの他の人の作品を自由に見ることができるのは、とてもべんりですが、なかには勝手に作品に書きこみをしたり、落書きをしたりする人もいます。そんなときは、まずはその落書きの様子を記ろくしましょう。

がめん ふうす き
画面の様子を記ろくすることをスクリーンショットと言います。

そのスクリーンショットとともに先生にそうだんしましょう。





まとめ

じょうず つか 上手に使うために

タブレットを使って「きょう有」や「発表」を行う場合には、相手のことをいしきするひつようがあります。

どんな人がこのじょうほうを受けとるのかを想ぞうしながら、「どうすれば相手につたわりやすいかな」ということを考え、くふうしてみましょう。

チェックしてみよう

- ☐ わたしは、タブレットを使って上手に発表することができる
- ☐ わたしは、感想を具体的に伝えることができる
- ☐ わたしは、友だちの発表をきちんと聞くことができる
- ☐ わたしは、自分の作品に勝手に書きこまれたとき、きちんと対応することができる